

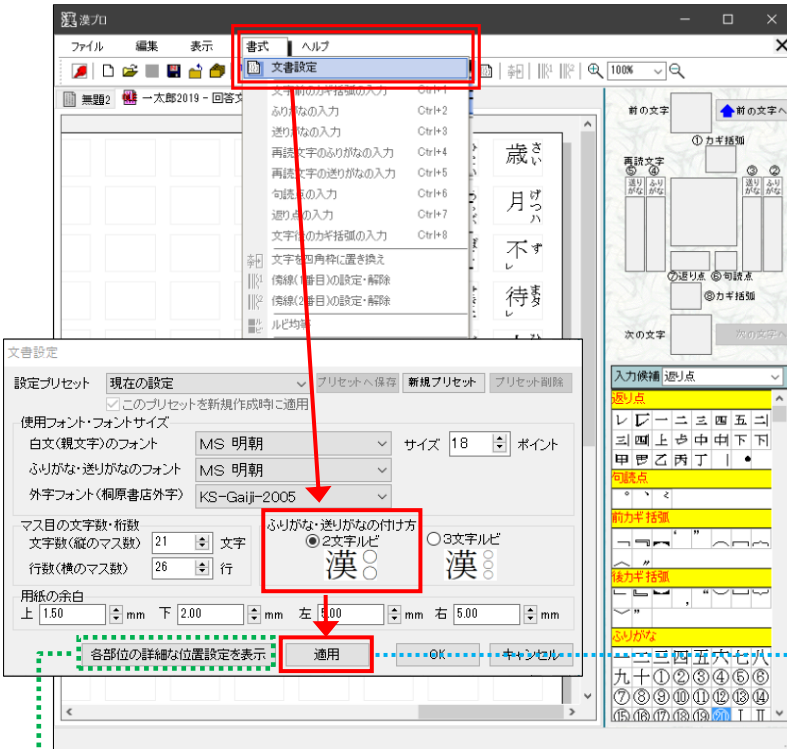
「漢プロ」オブジェクト上の「ふりがな」「送りがな」のサイズを大きくするには

【1】「2文字ルビ」に変更する

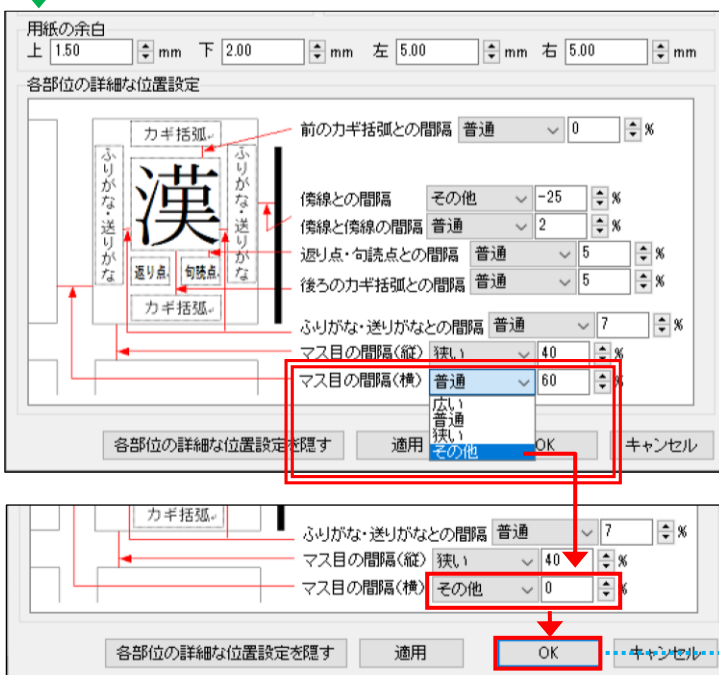
「書式」⇒「文書設定」⇒「ふりがな・送りがなの付け方」を「2文字ルビ」に設定すると、「3文字ルビ」の場合よりも心持ち大きくなります。

「文書設定」ウィンドウを開いたときに、「3文字ルビ」になっている場合はお試してください。すでに「2文字ルビ」になっている場合は、現状よりも大きくすることはできません。

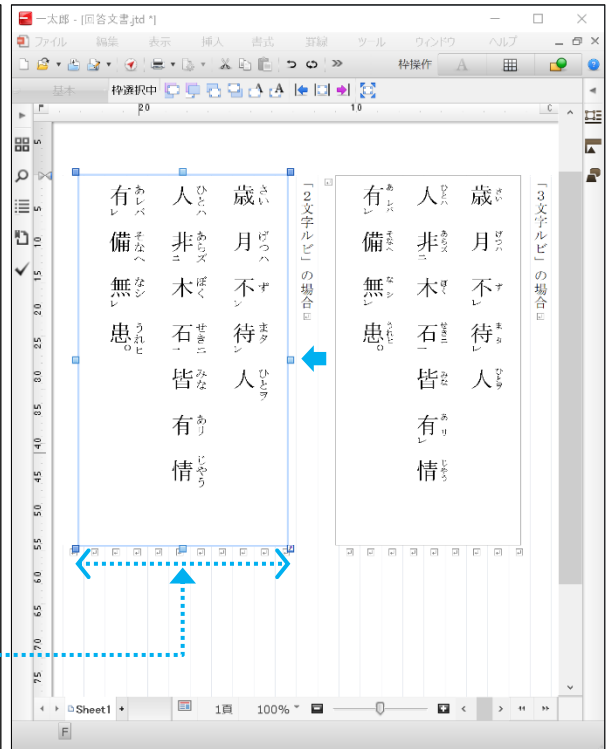
▼「漢プロ」エディタ側



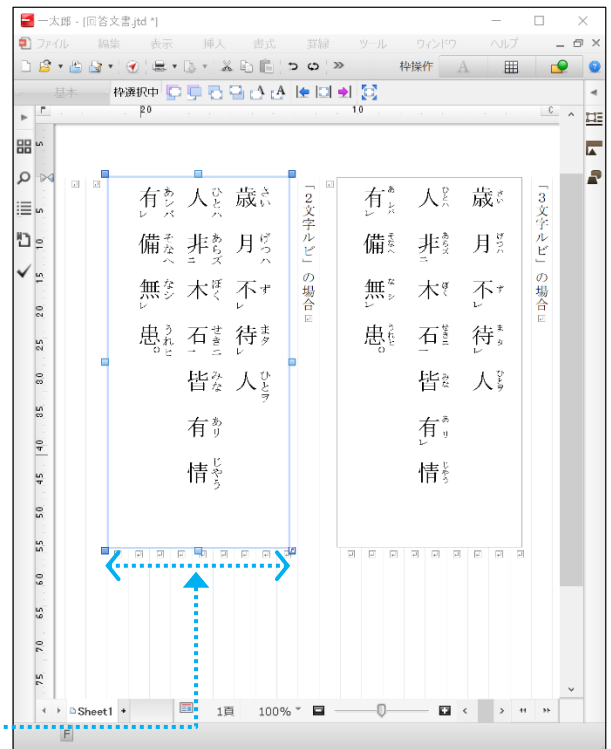
広がった横幅は、「各部位の詳細な位置設定を表示」で現れる設定画面で「マスの間隔(横)」をより「小さく」すれば、多少狭めることができます(下図は「0」の例)。



▼「漢プロ」オブジェクト (例:「一太郎」)



▲「ふりがな・送りがな」が大きくなる分、オブジェクトが横に広がります。



※「2文字ルビ」への変更で効果が得られるのは、「ふりがな・送りがな」が2字までの場合で、3字以上になると、文字が縦につぶれた印象が強くなり、かえって見づらくなる場合があります。

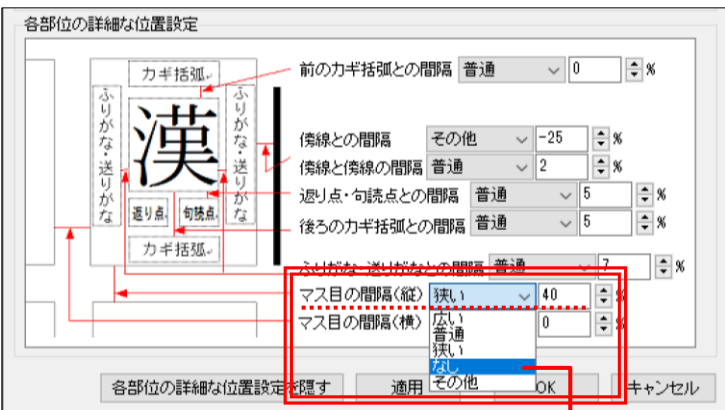
【2】「オブジェクト」のサイズを拡大する

漢プロで編集可能な一太郎上の領域（「オブジェクト」）のサイズを拡大すると、それに伴って、文字やふりがな・送りがなを大きくすることができます。

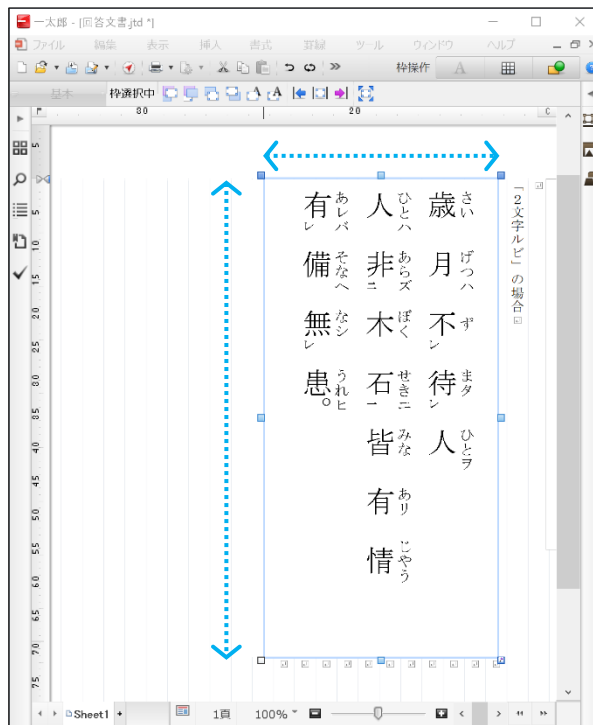
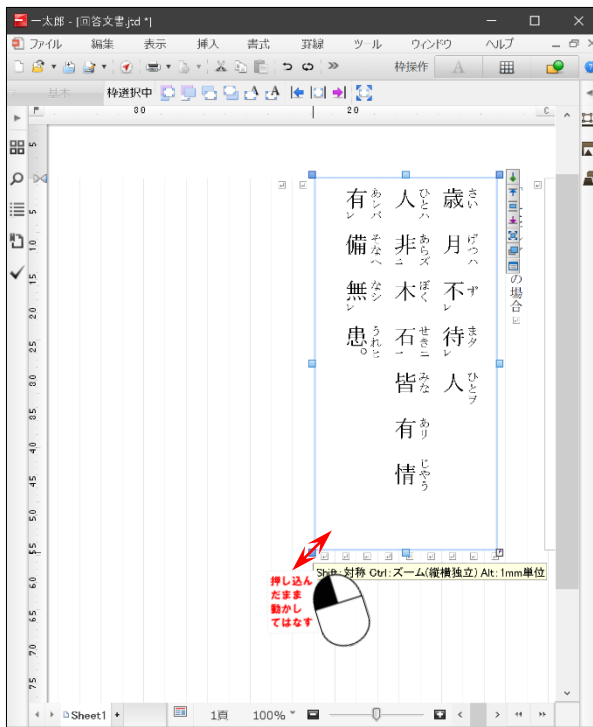
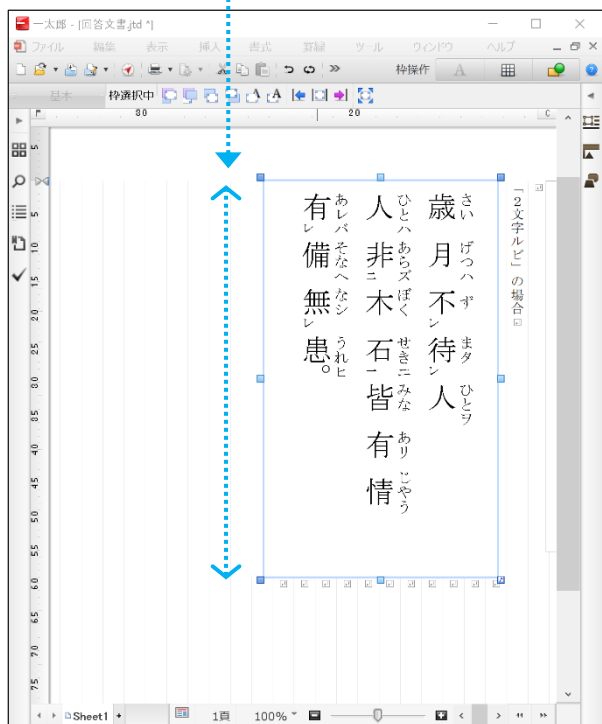
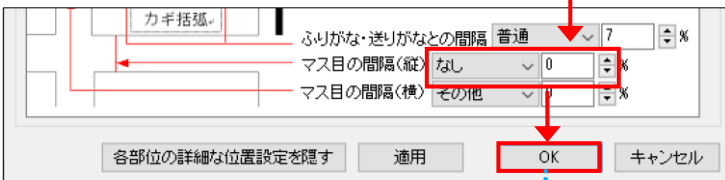
ただ、縦方向や横方向のみ大きくすると文字が変形して見づらくなります。

四隅にマウスカーソルをあわせて左クリックで押し込んだまま外側に動かして放すと、文字の変形を防ぐことができます（右図）。

オブジェクトを拡大した後でも、「各部位の詳細な位置設定」の「マス目の間隔」を設定することで、多少はサイズの調整ができます。



上図では「マス目の間隔（横）」が「0」なので変更できませんが、「マス目の間隔（縦）」の数値を小さくすることで、文字間隔が狭まり、縦方向のオブジェクトサイズを狭めることができます。



「各部位の詳細な位置設定」の「マス目の間隔（横）」と「マス目の間隔（縦）」を双方とも「0」にすると、「漢プロ」エディタの見た目が変わります。独立していたマスが連結された状態になりますので、ご注意ください。

